

令和3年度小谷村ケーブルテレビ放送番組審議会議事録

日 時	令和4年2月25日(金)11:00~12:00	場 所	小谷村役場 204 会議室	記録者	上川(由)
出席者	<p>【委 員】4名 上川喜一、北村和則、北村利幸、北村順二</p> <p>【事務局】3名 賣場崇大、諏訪匠、上川由香里</p>				
No	内 容				
1	<p>開会前、欠席者多数のため会の成立について規則に基づき確認がなされた。</p> <p>第4条（会議） 審議会は委員総数2分の1以上の出席があった場合に成立する。</p> <p>1 開会</p>				
2	<p>2 報告事項</p> <p>(1) 新春特番視聴者アンケートについて</p> <p>事務局より、資料1に基づいて説明がなされた。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>委 員) 今回はプレゼント企画に併せてアンケートを取ることができたが、他の番組の視聴反応はどう収集するかが課題か。</p> <p>委 員) プレゼント企画のように、何か見返りがなければ視聴者から意見を集めるのは難しいのではないか。</p> <p>事務局) プレゼント企画を継続していくには提供賞品のネタ切れが心配だが、小谷村の魅力が伝わるような品を届けていきたい。意見の収集方法は公式 LINE などの SNS が中心になると思うが、意見を元に視聴者（村民）目線で番組制作・発信を行っていきたい。</p> <p>事務局) 今回のプレゼント企画では賞品数を例年の2倍手配した。賞品があると視聴者は食いついてくれることがよく分かり、意見も集められたため、アンケート結果を賞品提供者にもフィードバックできるようにしたい。</p> <p>委 員) 視聴者目線での番組制作ということだが、例えば、2月の「おたりがぶった TV」で取り上げた立山登山はどうして行うことになったのか。</p> <p>事務局) 立山は国道から目に入りやすい位置にあり、形も印象的。村民も観光客も気になる山だという意見を聞くことも多かったため撮影に至った。</p> <p>委 員) 自分が知らない村内のお店紹介を見ると、番組をきっかけに行ってみたくなる。</p> <p>事務局) そういった視聴者が増え、集客に繋がっていけばよいと考えている。</p> <p>委 員) 店舗の細かな情報は行政では追い切れない。民営化したことで一店舗ずつ細かく情報を追うことが可能になっているように感じる。</p> <p>委 員) せっかくなので、アンケート結果の一部を村の広報誌に載せられないか。</p> <p>委 員) 役場総務課を通じて担当者で相談したらよいのではないか。</p> <p>(2) 放送番組に関する情報発信について</p> <p>事務局より、資料2に基づいて説明がなされた。</p>				

【委員からの意見等】

事務局) YouTube で除雪オペレーターの動画が人気で、視聴分析の結果から特に運転席目線の映像に需要があるのもわかるが、編成バランスを考えると需要が低めなインタビュー部分を失くす訳にもいかないため、番組制作の大変さを感じた。

委員) 取材先への費用的な協力要請は？

事務局) 現在は村内の方には無償もしくは持ち出しでご協力いただいている状況。

委員) 製作費については確保が難しい状況も理解できるため、取材協力してもらおう工夫をうまく重ねてほしい。

(3) Webpoint について

事務局より、Webpoint の導入について下記の通り説明がなされた。

- ・ Webpoint とは、インターネットブラウザの表示画面（ホームページ）をテレビ画面へ配信するシステム
- ・ 観光チャンネル（11ch）を用いて、主に道路情報や観光地のライブカメラを配信予定
- ・ 夜はライブカメラの需要がないと思われるため、これまで同様に観光 DVD の映像を流すなど、運用方法は検討中
- ・ 2022年3月中にテスト発信予定
- ・ ゆくゆくは文字放送も 11ch へ移行し、12ch と発信内容のすみ分けを明確にしていきたい

3 その他

(1)大糸線（糸魚川駅～南小谷駅間）について

事務局) 廃線も視野に入れつつ、あり方の検討が始まったと聞いている。CATV でも扱っていきたいと考えているがご意見を伺いたい。

委員) 大糸線には何ともいえない独特な魅力があるため、YouTube などを活用して村外に向けて魅力を発信してほしい。

委員) 黒部のトロッコ列車と沿線風景が似ていると思うので、観光列車として活用されてほしい。

事務局) 糸魚川市に大糸線活性化協議会の本部があるため、各委員の意見を踏まえつつ本部と連携しながら情報発信していきたい。

(2)白馬高校について

委員) 小谷村では白馬高校存続のために白馬村と協力して費用などを負担しており、他の公立高校とは小谷村の立場から見た位置づけが異なる。このことを踏まえて番組で白馬高校の活動を PR してほしい。改めて役場の高校支援担当者から相談があるかもしれないので対応をお願いしたい。

事務局) 公設民営なので、行政側の意見も反映して番組制作していきたい。

事務局) 小谷村内での課外活動があれば、番組として取り上げやすい。

(3)委員の任期について

委員) 役職対応の方は、人事に準ずることを承知しておいてほしい。

4 閉会

特記事項

次回開催は、2022年6月実施予定となった。